

議会だより みなかみ

泥とたわむれ
秋が楽しみ

令和4年(2022年)
7月15日発行

71号

特集

中学生に聴く！
わたしが
議員になったら…

6月定例議会

特集……………	2
本会議審議内容及び結果…	4
臨時議会(4月)……………	5
一般質問……………	6
この町あるある……………	14



バックナンバー
が見られます。



群馬県利根郡みなかみ町

表紙：町内こども園合同の田植え(藤原にて)



ご協力いただいた生徒会本部役員の皆さん

(写真撮影のためマスクははずしています)

中学生に聴く！

みなかみ町は10月に町長と議会議員の選挙があるよ。もし自分がみなかみ町議会議員に立候補するとしたら、公約は何にする？

公約って、私が議員になったらこんなことをしますとか、こんな町にしたいですとか、自分の実現したいことを町民と約束すること。町民の幸せのために何をする？

わたしが
議員になったら…はやし ゆうと
林 悠斗 さん

副会長

「わたしが議員になったら…」

「新治地区の人々」のために、「新治まで電車を延ばし、駅をつくりたい」。

実現すれば… 新治地区の人たちは電車に乗るために後閑駅まで来る必要がなくなり、月夜野・水上・藤原地区の友達との外出がしやすくなる。そのことで、みなかみ町の人々が幸せになる。



運動タイム

かたぎり しずる
片桐 静流 さん

会長

「わたしが議員になったら…」

様々な障がいをもった子どもとその家族のために、安心して預けられる保育施設、児童発達支援施設や様々な福祉支援サービスを提供したい。

実現すれば… 障がいをもった子ども達やその家族が安心して暮らせる町になり、全ての人にとって住みやすい町になる。

あべ こな
阿部 心菜 さん

副会長

「わたしが議員になったら…」

みなかみ町の人のために、特に車と歩行者の交通事故を防ぐために、ガードレールを設置することと、車を運転する人へスピードを出しすぎないように呼びかけられるものをつくりたい。

実現すれば… 歩行者も運転手も快適に生活できるし、交通事故も減るようになって、みなかみ町が交通事故の少ない町になり、住む人々が安心して生活できるようになる。

みやしま こうたろう
宮嶋 倅太郎 さん

書記

「わたしが議員になったら…」

交通事故減少のために、信号・横断歩道の増設や歩道の補修をしたい。

実現すれば… 小中学生の登下校や歩行者の安全確保ができ、一般の歩行者も快適に通行でき、さらに交通事故を減らすことにつながり、小さな子どもからお年寄りまで全ての人が安心して過ごせる町になる。

きたやま るな
北山 瑠那 さん

会計

「わたしが議員になったら…」

みなかみ町を世界一サステナブルな町にするために、SDGsに取り組み、目標を達成したい。私は一つの目標ではなく、複数の目標を同時に達成することが重要だと考えるので、特に環境に配慮した経済活動を行い、町を活性化させたい。

実現すれば… みなかみ町の素晴らしい自然が、何世代先までも残り、誰もが自由に生きたいように生きることができる持続可能な町になり、人も自然も幸せになると思う。

にし かた そうま
西形 颯茉 さん

書記

「わたしが議員になったら…」

共働きの家庭の人々や子どものお世話をしたくてもできない人々のために、仕事中でも保育園や幼稚園に預けずに、どんな家庭でもベビーシッターを頼めるような制度をつくりたい。

実現すれば… 今は子どもが小さくて、しかも共働きの家庭で、お子さんを保育園や幼稚園に預けたり、連れて行くことが難しいご家庭も安心して仕事に行けるようになる。また、子どものお世話をしたくてもできない人も子どものお世話ができる。そうすることで、みなかみ町に住む親子が幸せになり、また、安心して子どもを産むことができるようになる。

かとう たまみ
加藤 珠美 さん

会計

「わたしが議員になったら…」

子育て支援のために、給付金やノート、鉛筆などの文房具の配布をしたい。

実現すれば… みなかみ町での子育てが楽になり、みなかみ町に住みたい・ここで子育てをしたいと思う人が増える。そうなれば、みなかみ町が子どもの多い、活気のある町になる。



下校前の自習時間



清掃タイム

6月議会あらまし

6月7日から17日までの会期で6月定例議会を開いた。
発議2件、報告4件、人事2件、条例2件、その他6件、
補正予算1件を審議した。
一般質問は7人であった（6／13頁）。

審議内容及び結果

発議

再生可能エネルギー
発電設備の適正な
設置に関する条例

ユネスコエコパークに認定された、豊かな自然環境を後世に引き継ぐことは、私たちの使命。
ゼロカーボンシティー宣言の町として、またSDGs未来都市計画の観点からも、自然環境を守りつつ、節度ある開発を進めていくことが大切と考え、「みなかみ町再生可能エネルギー発電設備の適正な設置に関する条例」「みなかみ町再生可能エネルギー発電設備設置審議会設置条例」の制定を発議し、可決した。

補正

総額 151億5028万円

補正額 6億8928万円

（端数処理あり）

歳出

産官学金連携によるまちづくり事業… 6億2981万円
子育て世帯生活支援特別給付金事業… 1079万円
その他…………… 4868万円

歳入

既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業補助金… 2億4227万円
地方創生応援税制寄附金… 3億8755万円
その他…………… 5946万円

6月定例議会議案及び議決結果

議案番号		議案内容	議決結果
発議	第 2 号	再生可能エネルギー発電設備の適正な設置に関する条例の制定	全会一致可決
	第 3 号	再生可能エネルギー発電設備設置審議会設置条例の制定	
報告	第 8 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
	第 9 号	令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	
	第 10 号	令和3年度水道事業会計予算繰越計算書の報告	
	第 11 号	土地開発公社の経営状況の報告	
諮問	第 1～2 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任との意見
議案	第 38 号	消防ポンプ自動車購入契約の締結	全会一致可決
	第 39 号	消防小型動力ポンプ付積載車購入契約の締結	
	第 40 号	給水タンク車購入契約の締結	
	第 41 号	奥利根アメニティパーク中継設備等整備工事の建設工事請負契約の締結	
	第 42 号	社会資本整備総合交付金事業除雪機（ロータリ除雪車11 t +100PS級）購入契約の締結	
	第 43 号	社会資本整備総合交付金事業除雪機（除雪ドーザ8 t 級）購入契約の締結	
	第 44 号	介護保険条例の一部を改正する条例	
	第 45 号	一般会計補正予算（第2号）	
	第 46 号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	

陳情

件 名		陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第4号	地方自治法第92条の2に抵触する議員の辞職の決議を求める陳情	みなかみ町布施339-1 布施区長 鈴木 章二	総務文教常任委員会 不採択すべきもの	不採択
第5号	投票環境の改善を求める陳情書	みなかみ町永井425番地 みなかみ町の選挙を考える会 代表 永井 浩	総務文教常任委員会 趣旨採択すべきもの	趣旨採択
第6号	RDF 実証実験ボイラーの撤去を求める陳情書	みなかみ町新巻1225番地 みなかみ町のごみ問題を考える会 代表 大坪 進	厚生常任委員会 不採択すべきもの	不採択

4月臨時議会あらまし

審議内容及び結果

補正

燃油の高騰対策

施設園芸農家燃油価格
高騰対策補助金

地方創生臨時交付金を活用し、燃油価格の高騰により多大な影響を受けている施設園芸農家の負担を軽減するため、燃油購入費の一部を支援する。

質

今後、他の業種も支援していくのか。

答

今回の補正は緊急性の高いところへ支援をするが、今後、要望が出てきた時点で対応を考えていきたい。

4月20日に臨時議会が開催された。
報告1件、承認4件、人事1件、補正1件
を審議した。

補正

令和4年度 総額 144億6100万円

補正額 4億9100万円

（端数処理あり）

歳出

おでかけタクシー券事業………… 700万円
愛郷ぐんま地域クーポン事業… 1億2368万円
第2弾エールみなかみ商品券事業… 9600万円
その他…………… 2億6432万円

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金…………… 1億6422万円
県支出金…………… 1億2368万円
ふるさと応援基金繰入金………… 5810万円
電子地域通貨チャージ収入… 1億4500万円

4月臨時議会議案及び議決結果

議案番号		議案内容	議決結果
報告	第 7 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致承認
承認	第 2 号	税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	
	第 3 号	都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	
	第 4 号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	
	第 5 号	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の専決処分報告	
議案	第 36 号	固定資産評価員の選任	全会一致同意
	第 37 号	一般会計補正予算（第1号）	全会一致可決



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

石坂 武 いしがか たけし ①公約8項目と主要施策の取り組み ②死亡届等のワンストップ化に向け	窪田 金嘉 くぼた かねよし ①先が見えないみなかみ町	茂木 法志 もぎ のりゆき ①保育園留学という未来をつくるプログラム ②セントラルキッチンや加工場の必要性和周辺施設等の活用方法	高橋 久美子 たかはし くみこ ①町民の方に寄り添った施策を ②デジタルの活用で町民の方の安心安全を	牧田 直己 まきた なおき ①子どもの学力の向上と体力の保持増進における取り組み ②学校における図書室の新たな活用における取り組み ③デジタル行政の推進のための取り組み	鈴木 美香 すずき みか ①学校給食費について追考する ②みなかみ産出の『水』の積極的な活用でみなかみのPRを ③町内の竹林の具体的な整備と活用は ④大学、学生を呼び込む施策で関係人口を増やし将来移住・定住に繋げる考えは
--	---------------------------------------	---	---	--	---



石坂 武 議員

湯原地区公共施設等最適化事業は 町長 整備に向けた実施計画を作成

問 就任以来、どんな思いで職に当たり、現在を迎えているか。

答 町長 4年前は、信頼の回復、町政の正常化という課題を抱え、どん底からのスタートだった。新生みなかみ中学校の開校や都市計画道路悪戸矢瀬線の開通、谷川岳インフォメーションセンターの開設、新三国トンネルの開通など、一定の成果を残したと感じている。

問 失った信頼の回復について、どう捉えているか。

答 町長 信頼の回復は、町長自ら行動で示すことと思う。信頼の回復が叶ったかの判断は、今後、町民の皆さんが判断するものと思う。

問 湯原地区公共施設等最適化事業の実現に向けての考えは。

答 町長 4者協定による産官学金事業がスタートし、湯原地区の公共施設等の最適化について提案をいただく予定。町の財政、社会情勢を考慮し、整備に向けた実施計画を作成したい。

問 水上医院閉院に伴う対策は。

答 町長 今後、水上医院のご意向と沼田利根医師会の意見を伺い、無医地区の問題について検討を進めたい。

問 町長と語る会の再開は、町民の方の声を生で聞く意味においても必要と思うが見解は。

答 町長 町民アンケートを実施しており、町長と語る会といった機会を設けなくても、町民の素直なご意見、ご要望は伺えると考えている。

問 共働き職員の処遇について。課長職への登用がないが、偶然か、意図的か確認したい。

答 町長 夫婦とも管理職として登用されている職員もおり、課長職に求められる能力、基準に達していれば、これから登用されることもある。

問 死亡届等のワンストップ化に向け、いわゆる総合窓口化について伺う。

答 町長 死亡届の際は、様々な手



老朽化で使用が制限されている水上観光会館

続きが必要になってくる。死亡届提出時、後日、手続きがスムーズに出来るよう「手続きのご案内」を渡している。最近では、お悔やみの専用窓口を設け、まとめて手続きを行う自治体が増えているので、その事例を参考に、当町でも取り入れられるか検討する。



阿部 清 議員

落橋による橋の架け替えは

町長 現段階での架け替えは難しい

問 消防団組織の現状は。

答 町長

条例定数659人に対して基本団員539人、機能別消防団員8人。今年度組織改革し、副団長を6人から3人に減らした。団員の報酬をはじめ、活動の実態に応じた手当の改善など、検討を進めている。

問 消防団詰所の維持管理費は、行政区の負担軽減が図られるような方法で考えて行きたいと答えていたが。

答 町長

各詰所における電気代やガス代などの光熱費、浄化槽の維持管理料など詳細を調査し、行政区の負担軽減を進めていく。

問 平成30年11月時点、町内の防災士は22人と説明されたが、現在の人数は。

答 町長

令和4年5月末現在、登録人数は41人、町は防災士の資格取得を推進するため、助成金制度を創設し養成を行っている。

問

今後、地域の防災力向上を見込んだ取り組みは。

答 町長

防災拠点の設置と災害時相互支援体制の構築事業を行い、広域消防、消防団、防災士、自主防災組織による防災訓練など、地域防災力の向上を進めていく。

問

中学校が統合し、一つの学校となり、町内の至る所から生徒が通学している。災害発生時、遠距離通学の生徒は帰宅できないことも想定される。新中学校での防災対策は。

答 町長

保護者にできる限り連絡を取るよう努め、保護者等が迎えに来るまで学校で預かる。

問

町道鹿野沢21号線に架かる紅葉橋。質問当時、通行規制がかけられ渡ることができないため、有事の際に備えて管理だけ

答 町長

地元区長をはじめ、15人の連名で要望書を頂き、重く受け止めている。現段階での新橋の架け替えは非常に難しい状況だが、国道291号は、災害に強い道路を造ることを整備目標としている現状。地域住民が孤立しないよう県と協力し進めていく。



窪田 金嘉 議員

先が見えない行財政

町長 可能な限り行政サービスを維持向上

問 町長の財政運営の基本理念では、将来に町の財源が不足することはないとのか。

枯渇することはないのか。

答 町長

積立基金残高の減少が、財政運営の悪化とは考えていない。国の交付金などを活用しているが、一部の財源については、財政調整基金に頼らざるを得ない状況にはなる。しかしながら、継続的に財政調整基金残高が減少していることは課題と認識。近年の行政活動の多様化に伴い、求められる財政支出は増大する傾向にある。財政調整基金については、大規模災害の発生や、予期しない税収の減収等に備えるため維持が重要。町民の生活を守るべく、必要な事業を検討、実施している。

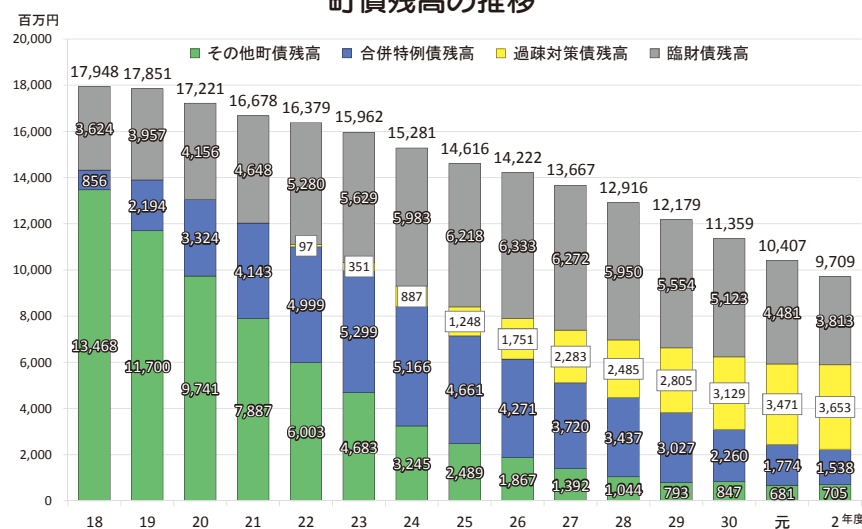
問

借金があるとすれば、借金の金額は。将来的に借金は膨れ上がり続けるのか。何時までに返済か。さらに借金を抱え続けても問題はないのか。財政破綻はしないのか。将来的に財政再生団体に陥る可能性は。

答 町長

地方債の発行抑制等に継続的に取り組んでおり年々改善傾向。今後も継続的に地方債残高を減少させる財政運営に取り組むたい。今後も財政再生団体に該当することはない。地方債は単なる借金ではなく、住民の世代間負担を平準化する機能を持つ。民間企業の借入金と、地方公共団体が起こす地方債とは全く性質の異なるもの。地方財政法第5条ただし書には、地方債をその財源として活用

町債残高の推移





茂木 法志 議員

保育園留学プログラムの見解は

町長 要望があれば対応できる体制を

問

保育園留学は、幼少期、自然に触れながら心身ともに健やかに育つ環境を提供でき、両親にとっては、ワーケーションの環境を整え、働きながら短期間の宿泊施設を活用して、地域の方とのつながりも深められ、子どもと一緒に食体験や移住体験もできる。多様な選択肢を提供し、この町を知ってもらうことができる、一時

答

町長

預かり事業を活用した取り組み。首都圏の若年層のファミリー層や、連携のある企業へのアプローチを考え、保育園留学というプログラムの活用について、現状の町の資源の活用等も含め見解を。

預かり事業を活用した取り組み。首都圏の若年層のファミリー層や、連携のある企業へのアプローチを考え、保育園留学というプログラムの活用について、現状の町の資源の活用等も含め見解を。

※1 セントラルキッチンや加工場の必要性

問

観光と農業の町として、ブランド力を向上していくときに、地域の生産者や事業者がチャレンジできる環境が必要では。

答

町長

町内産農産物をどう加工、販売するかということが重要。各農家から農産物を収集し、一括で加工できる施設は、町全体のブランド力の底上げや、農家所得の向上につながると思われるが、初期投資や運営経費を考慮し、慎重に検討していく必要がある。農家や飲食店等事業者の皆様が、生産から販売までの一連の流れをどのように考えているか、どのような施設を望んでいるのか、ニーズ把握が必要と考えている。



町内産リンゴの加工品はジュースやパイやジャムが多いです。



高橋 久美子 議員

受領委任払い制度も導入すべきでは

町長 今後導入に向けて検討

問

中学生以下の子ども世代は給食費の高騰に対する配慮がなされているが、高校生は給食ではないので、保護者の負担軽減策が必要。地方創生臨時交付金、施策を計画中ということで、高校生世代に、ミナカミハート5千円分給付を提案するが見解は。

問

高齢者世帯でこれを支払うのは、負担がきついと思う。負担軽減の目的で、県内でも改修工事費の1割の支払いで済む受領委任払い制度導入の自治体が増えている。物価高騰の折、当町でも負担軽減、町民に寄り添う施策として受領委任払い制度も導入すべきと思うが、見解は。

答

町長

厚生労働省が、2023年度に、約10年ぶりとなる母子健康手帳の刷新を予定。その中で低体重児への配慮を盛り込む方向なので、今後の国の動向を注視し研究したい。



婦恋村のイベントで設置された「赤ちゃんの駅」

答

町長

乳幼児を持つ子育て家族が、安心してイベント等に出かけられる環境づくりを検討していきたい。

答

町長

利用者本人が一旦費用の全額を業者に支払う。その後、町に申請し、自己負担分を差し引いた額を受け取る償還払い方式が原

問

介護保険住宅改修及び福祉用具購入費の支払い制度で、支払いの方法を伺う。

答

町長

利用者の一時的な負担を少しでも軽減できるよう、現状把握と対応策の研究を行い、今後導入に向け検討していきたい。

問

各イベント会場に「赤ちゃんの駅」を設置することで、乳幼児を連れた親子が気軽に安心して参加してもらえる。子育て世代に寄り添った施策として、「赤ちゃんの駅」活用の見解は。

*他に危機管理水位計など、防災情報の活用など質問しています。



牧田 直己 議員

地域開放型図書館の可能性は 研究が必要

教育長

問 これからは児童と教師双方だけで行われる学校教育環境ではなく、保護者や地域を含めた、関わり合いの中で営まれる学校運営が必要。学校図書館を住民に開放する可能性は。

答 教育長 交流の場、子どもの新しい居場所、地域の人との関りの場という視点は重要だと思う。実現にはよく研究していく必要がある。

よって奪われてしまい、かなりの体力低下に繋がっている。

問 当町の場合は、中学校統合も行われ、スクールバスの都合からも部活動にかけける時間がより少なくなるが、運動時間の確保の方策は。

答 教育長 現在、部活動の時間は毎日15分は減っている。対策としては掃除の時間をA・Bの2班に分けて、A班が掃除している際はB班はランニングを行うなどの取り組みを行っている。

て、大きく上昇している。当町の子ども達の現状は。

答 教育長 小学5年生は約17%、中学2年生は約21%、これは全国平均を大きく超えている。

問 学力について。変化の激しい社会の中、できる限り義

務教育期間に基礎学力を高める環境づくりが必要だが、その方策は。

答 教育長 あらゆる力が必要だが、特に課題意識を大事にした探究型授業に力を入れた。これが、これからの社会を生きる基になる力だろうと考えている。

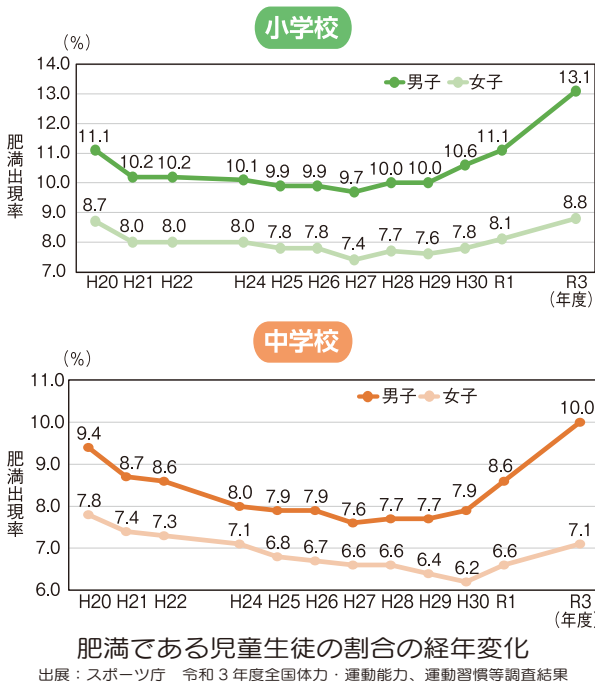
問 子どもの学力と体力

全国体力運動能力調査を踏まえると、子ども達の大幅な体力の低下が見受けられるが、当町の子どもの場合はどうか。

答 教育長 当町の小学生は、平均よりも高い数値である。ただ中学生の場合は、部活の時間がコロナに

踏まえると、令和元年から令和3年にかけて

問 肥満率について
全国調査結果を



答 教育長 国際学習到達度調査における読解力の結果について、日本は2015年は8位であったが、18年には15位と落ちている。当町でも読解力に注視して指導していかなければならないと思う。

問 これからどんどん人工知能が出てきて、無くなっていく職種も増えていく。人工知能にはできなくて人間にある力、すなわち読解力が必要になると考える



鈴木 美香 議員

切った竹の処分方法は 竹の利活用を検討

町長

問 荒れた竹林の対策は。

造など、竹の利活用は関係者も交えて検討していく必要がある。

答 町長 ぐんま緑の県民税を活用し、竹林整備等を実施。里山環境の保全に取り組んでいる。

問 切った竹の処分方法に苦慮している。切ったまま運べる場所があれば、管理しやすいのではないか。

答 町長 各地区やボランティア団体で実施する、導水路の整備や里山整備によって排出された伐木材や枝、竹等処理できるよう、木材破砕機の無料貸出しを行っている。令和3年度には、竹炭の利活用について研修会を実施。竹炭利

用だけでなく、竹製品の開発や製

大学・学生を呼び込む

問 歴史、文化、芸術、自然環境、観光産業、また教育と

いった多様な分野において、多くの大学や専門学校が当町に注目し、可能性を感じていると思われる。活動先として選ばれている理由は。

答 町長 大学や専門学校生が存在する首都圏からのアクセスのよさと、自然環境を含めた地域資源の充実とを感じる。

問 10代、20代の若い世代が町に関わることは。

10代、20代の若い世代が町に関わることは。

答 町長 若者世代へ町の認知度を高めることで、保護者や家族の認知度も必然的に上昇する。自ら判断し行動することが可能となる18歳以上の学生にフォーカスした誘客活動についても研究したい。

問 地域課題の解決と学生の活動拠点として、大学側に町

には受け入れるフィールドと体制がある。すぐに移住につながるくても、必ず将来へつながる。社会人になって、思い出の地として再度訪れる方、自然豊かな場所での子育てを望む若い世代に、すばらしい子育て支援をしているみなかみを選んでもらうきっかけになるのではないか。

社会人になって、思い出の地として再度訪れる方、自然豊かな場所での子育てを望む若い世代に、すばらしい子育て支援をしているみなかみを選んでもらうきっかけになるのではないか。

社会人になって、思い出の地として再度訪れる方、自然豊かな場所での子育てを望む若い世代に、すばらしい子育て支援をしているみなかみを選んでもらうきっかけになるのではないか。

答 町長 社会人となった卒業生の皆様が町を再訪した際に、過去の活動がまちづくりに反映されていることが実感できるような取り組みを展開し、関係人口の創出を図ると共に、将来に向けて長期的視野で移住・定住につなげていきたい。

*他に『生徒以外の給食費について』『みなかみ産出の水について』質問しました。





町の宝紹介

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていくため、議会発で町にある「お宝」を再確認するコーナーです。「この町には、いろいろある。何もないうことない。」このコーナーでは、皆さんからの情報もお待ちしております。

町の宝篋印塔から

ほうきょういんとう

宝篋印塔とは

宝篋印塔とは、元来「宝篋印陀羅尼經」というお経を納めたものであり、宝篋印塔に花を供え供養すれば、永遠に罪は消え、生きている間は災害に遇わず、死後は必ず極楽に生まれ変わると説かれている。

日本では、鎌倉時代に一定の形式が整う。時代が下ると小型化し供養塔や墓として建てられた。宝篋印塔の時代考察は笠部分の「隅飾突起」の角度で調べる。垂直に近いほど歴史が古い。わが町には多くの宝篋印塔が存在し、江戸時代中期のものが多い。



① 綱子の宝篋印塔

阿部さん宅裏

「町誌みなかみ」によると、永和二年（一三七六）に建てられた宝篋印塔である。

この時代、沼田氏五代景繁が一带を支配する時代で、尾瀬や藤原には前九年・後三年の役に敗れた安倍氏や家臣の子孫が隠れ住んでいたといわれている。

この宝篋印塔が建てられた翌年、景繁に出仕したが折り合いが合わず、沼田兵に追い詰められて

恩田の薬師堂で集団で自害している。この時代考証から安倍氏との関わりがある宝篋印塔でないかと考えられる。

② 上杉謙信の供養塔

上津の如意寺



越後の虎と称された上杉謙信は永禄三年（一五六〇）から十数年にわたり、三国峠や清水峠を越えて（越山）関東に進出した。

天正六年（一七八）三月十三日、四十九歳で亡くなった。その

一カ月後、謙信の家臣で沼田城代を務めていた上野家成は、後閑の恕林寺に供養塔を建立した。その後、如意寺に移転したといわれている宝篋印塔である。

③ 沼田真田三代藩主熊之助墓

新治小学校プール隣



天正十八年、真田信之が沼田藩主となり、真田氏の時代が五代九十二年間続く。

寛永十二年（一六三五）十二月五日、信之の長男信吉の子熊之助が四歳で三代藩主となった。しかし、寛永十五年十一月六日、七歳で亡くなった。法名は一陽院殿梅心玄香童子で今宿（現新治小学校プール北隣）に玄香院という菩提寺を建立して葬った。

現在は、今宿の徳巖寺に位牌が安置されている。

ふるさとクイズ

問題



みなかみ中学校
生徒会本部役員の人数は。

- ① 5人 ② 6人 ③ 7人

前回の議会だより 70 号ふるさとクイズの正解は『③花あかり』でした。

★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面の FAX 用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・感想」係
締切：2022 年 8 月 31 日（当日消印有効）
※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

群馬県利根郡みなかみ町後閑 318

みなかみ議会だより
「ふるさとクイズ・感想」係

3 7 9 1 3 9 0

料金受取人私郵便

沼田局承認

865

差出有効期間
令和 5 年 3 月
31 日まで
(切手不要)

記入欄は裏面にあります

山 折 り 線



ウスパシロチョウ



皆さんの
おたより

ハガキの方は、この線で切り取り
内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。
FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇨ _____

○差出人住所 ⇨ 〒 _____

(ふりがな)
○差出人氏名 ⇨ _____

○年 代 ⇨ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を付けてください) ・40～60代 ・70代～

○議会だよりの感想

のりしろ

のりしろ

のりしろ

よせられた
感想

40代～50代

議会だよ리를読み、ナラ枯れのことを初めて知りました。みなかみ町の自然豊かな町と思っていたので、今後の対策が重要だと思います。引き続き、どうなったのか知りたいと思いました。

町民ひろばの焼きいも、おいしかったです。記事を見て、ぜひ食べたいと思ったのですが、出店情報がなく、偶然、沼田市内でキッチンカーに会えました。今後はお店の情報を載せてくれると町の人も行けると思います。

(月夜野)

40代～50代

高齢者にやさしい町の質問がされて

いて、興味深く読みました。全国的にもデマンドバスの運行がなされていますが、問題点もあると思います。様々な問題点を拾い出して、それから具体化していくことを望みます。買い物だけでなく、銀行、役場、コミュニケーションがとれる場所に、一人で行けるような交通手段が必要だと思います。採算性を考えての政策を望みます。考え、議論を重ねれば、実現できると思います。

(小仁田)



虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、左記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるようなことも禁止されています。趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください。

..... 流れ

- ①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

次回の定例会は

**8月24日（水）～
9月 2日（金）の予定。**

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

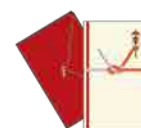
席数：34席

【問合せ先】議会事務局

☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

委員長…阿部 清
副委員長…鈴木 美香
委員…窪田 金嘉・本多 公保
高橋久美子・森 健治
中島 信義
編集アドバイザー
利根川太郎
編集モニター
利根商業高等学校生徒



秘書などが代理で出席する場合の結婚祝



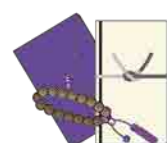
入学祝・卒業祝



町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ



お祭りへの寄付や差し入れ



秘書などが代理で出席する場合の香典



葬式の花輪・供花



落成式・開店祝の花輪



お歳暮やお年賀



地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

食卓に もう一品増えたなら

あかいし かつひろ
赤石 勝廣さん 63歳(綱子区)

みさこ 64歳
美佐子さん

ゆうき 38歳
裕樹さん

―町を知ったきっかけ―

草津町にて板前をしていたところ、17年前に縁があり谷川の旅館で働くこととなりました。

―なぜ、移住を?―

裕樹さんがこの地を気に入る、家を買う決断をしました。趣味の釣りをするのびったりな場所です。

―町の印象は―

初めて訪れたとき、錦秋の諏訪峡大橋を見て、なんと素敵な観光地と思いました。川が印象的で、故郷の川で鮭を捕っていたことを思い出しました。

―住んで良かったことは?―

自然が素晴らしい。人が優しい。近所の方々に季節の野菜を頂いたり、食べ方を教えてもらったりして助かっています。

―お困りのことは?―

夫婦で東北の育ちなので雪には慣れています。この冬の積雪の多さは、正直、疲れました。

―抱負は?―

もう一度、自分の店を持ちたい。板前を育てたい。綱子公民館を活用し、地域の方へ安くて美味しい惣菜を提供したい。高齢者世帯の食卓にちよつと一品増えたら、喜んでもらえるかなと思います。自分の出来ることで人の役に立ちたいです。

―提案されたいことは?―

使われていないスキー場がもったいない。そり遊びとか家族で楽しめるよう、活用できないでしょうか。

―町民へのメッセージ―

皆さんに良くしてもらい、ありがとう。



勝廣さんのお料理

木の芽みそのレシピを 教えていただきました。

白みそ	300g	} ④ 木の芽 適量
砂糖	100g	
酒	150cc	
みりん	50cc	

- ④…酒、みりんを鍋に入れアルコールを飛ばし、白みそ、砂糖とよく混ぜ合わせておきます。
- 山椒の葉をすり鉢ですります。
- すり鉢に、冷ました④を少しずつ加えてさらに擦り、完成です。
- 筍やこんにゃく等に和えたり、魚や肉に塗って焼いたり、様々な使い方ができますよ。

編集後記

史上最短の梅雨明けと猛暑と、体調管理に苦慮されている方も多いのではないのでしょうか。そんな中でも、残雪残る谷川岳と一面の緑のジュータンの上を吹き抜ける風、鳥のさえずり、木々の木漏れ日、早朝の爽快感と、蜩舞う夕べは心癒されるひとときでもあります。

この6月14日はユネスコエコパークに登録されて5年目となりました。「足下を掘れ、そこに泉あり」との言葉がありますが、身近なところに自然を代表として素晴らしい宝物が溢れています。この4年間は様々な「まさか」の連続の月日でもありました。だからこそ、身近な大切なものを感じ取れたこともたくさんありました。

今号でこのメンバーでの編集も終了となります。貴重なご意見もいただき、心より感謝申し上げます。「ありがとうございました。」(高橋久美子)



勝廣さんは青森県、美佐子さんは秋田県のご出身。勝廣さんは板長さん。裕樹さんは板前の修行中、美佐子さんも厨房を手伝っています。



赤石さんご一家